

平成 30 年度滋賀県がん診療連携協議会・第 1 回研修推進部会 議事概要

日 時 平成 30 年 6 月 4 日 (月) 18 時 00 分～19 時 10 分

場 所 滋賀医科大学医学部附属病院 4 階 第 4 会議室

出席者 村田喜代史 (滋賀医科大学医学部附属病院)
片倉浩理 (大津赤十字病院)
財間正純 (滋賀県立総合病院)
多川晴美 (滋賀医科大学医学部附属病院)
北川久美 (大津赤十字病院)
小野原明子 (滋賀県立総合病院)
山崎道夫 (公立甲賀病院)
藤本紀子 (公立甲賀病院)
吉川浩平 (彦根市立病院)
田久保康隆 (市立長浜病院)
山岸美紀 (市立長浜病院)
武田佳久 (高島市民病院)
澤井奈奈江 (高島市民病院)
高見史朗 (市立大津市民病院)
馬場弘道 (長浜赤十字病院)
高山真一 (滋賀県歯科医師会)
瀧川政邦 (代理：大西) (滋賀県薬剤師会)
平田誠 (滋賀県放射線技師会)
松井まり子 (滋賀県臨床検査技師会)
玉井文子 (滋賀県歯科衛生士会)
鈴木真理 (滋賀県栄養士会)
寺田智祐 (滋賀県病院薬剤師会)
野坂明子 (代理：福井) (滋賀県健康医療福祉部)
川邊義巳 (滋賀県立総合病院)

欠席者 木下千恵美 (彦根市立病院)
小林遊 (草津総合病院)
鴨井和実 (済生会滋賀県病院)
中野且敬 (近江八幡市立総合医療センター)
目片英治 (東近江総合医療センター)
中村隆志 (滋賀県医師会)
三上房枝 (滋賀県看護協会)

オブザーバー 菊井津多子、奥井さよ子、柳田英代、岩本香奈 (滋賀県がん患者団体連絡協議会)

(敬称略)

1. 報告

部会長から、次の新規部会員の紹介があり、出席の部会員から自己紹介があった。

滋賀県立総合病院	小野原 明子	看護部副部長
公立甲賀病院	藤本 紀子	看護部 係長
滋賀県立総合病院	川邊 義巳	財務企画室 主任主事

また、がん患者団体連絡協議会からオブザーバーとして4名の方々に参加していただいていることの紹介があった。

部会長から、研修推進部会の役割として次の項目について確認があった。

- (1) がんに関わる医療人の育成に関すること
- (2) がんに関する教育・研修の企画・調整・広報等に関すること
- (3) がん診療連携拠点病院等が実施する各種研修等の推進・調整に関すること（ただし、他の部会の所掌に関するものを除く）
- (4) その他研修に関すること

前回の部会（平成30年2月23日開催）の議事概要に沿って内容の確認があり、ご意見等があれば事務局までご連絡いただきたいとの依頼があった。

2. 議題

(1) 平成30年度の取組について

1) アクションプランについて（資料1）

平成30年度より、がん対策推進計画の第3期がスタートし、今後6年間の「目標」と「アクションプラン」を新たに決める必要がある。滋賀県がん診療連携協議会において所管事項が決まっており、研修を柱とする（案）と、平成30年度の実施策、年間スケジュールについても昨年と同じとする（案）の提案があり、下記の内容で了承された。

「目標」「アクションプラン」

- ・各種研修に関する調整と計画の作成

「平成30年度の実施する施策」

- ・がんに関わる医療人の育成に係る研修の検討
- ・分野ごとの講演会、研修会等の過不足の改善検討
- ・フォーラム・講演会等開催情報一覧表の表示項目の検討
- ・県内統一の看護研修会の実施

「平成30年度 年間スケジュール」

- ・部会を3回開催
- ・看護ワーキングによる「がん看護研修」等の実施
- ・がんに関わる医療人の育成に係る研修の検討

（医療人の育成については、看護師以外の領域でも行われていることを確認し進めていく。）

- ・講演会、研修会等一覧表の日程を最新化してホームページにアップ、研修会の参加者数、満足度の確認

2) PDCAサイクルについて(資料2)

平成30年度における研修推進部会のPDCAサイクルのPlan(計画)については、「各医療機関、団体が主催する講演会、研修会等の参加人数ならびに満足度」を指標とし、参加者の増に向けた講演会等開催情報一覧表の表示項目等の検討を行っていくこととした。

3) がん関係フォーラム、講演会等開催予定、受講人数について(資料3-1~3)

滋賀県のサイト「がん情報しが」に毎月掲載しているがん関係フォーラム、講演会等の情報を元に、各医療圏における講演会等について過不足等の確認、検討を行った。

(大津) 開催件数は、昨年度同様、約30回程度になると思われる。臓器別に見てもバランスが取れており、このまま進めていく。大津赤十字病院では毎月県民大学を実施しており、半分ががんに関する内容となっている。

(湖南) 昨年度と同様に、毎月がん診療セミナーを開催しており、5月に第100回を開催し、75名の参加があった。今後も続けていきたい。また、5大がんでみると、臓器に偏りがあるため今後検討していく。

(甲賀) 一覧表に、5大がん等についてあがっておらず、報告できていないものがあると思われるため、報告するようにする。

(湖北) 5大がんについての項目が少ないが、7月に開催する「湖北がんフォーラム2018」は、がん全体を網羅した内容となっている。特徴として、毎月行っている公開教室の開催に対し認定看護師に尽力いただいている。また、湖北地域のすべての中学校でのがん教育も予定している。

(湖西) 7月に緩和ケア市民公開講座を、また11月には5大がんの1つをテーマにして行う予定である。中学校でのがん教育を2年間行い、好評で全中学校で開催してほしいとの要望があり今後予定している。また、看護師を中心にがん教室も行っていく。

部会長から、講演会等の情報は、「がん情報しが」に掲載し毎月更新しているので、引き続き提供いただくよう依頼があった。また、部会として講演会等の参加者数、満足度を確認しているので、講演会等の終了後には、同じくご報告いただくよう依頼があった。

4) 看護ワーキングが行うがん看護研修の実施について(資料4)

多川委員より、平成24年度から平成29年度に行った「がん看護研修Ⅰ・Ⅱ」の評価及び今後のニーズについて調査した結果の報告があった(56施設中23の施設から回答有)。

研修終了後のがん領域の資格を取得した看護師が2名いることを確認している。回答率は41.4%と低かったが、がん看護研修に対するニーズはあると考える。

これを踏まえ、平成30年度の研修計画を行い、内容は、日本看護協会のクリニカルラダー

に基づくものとした。これにより、2025年に向けて変化する医療体制への対応として、病院だけでなく施設や訪問看護ステーション等幅広く汎用性のあるプログラムとなっている。今年度は、大津赤十字病院と滋賀医大で6つのテーマに基づき研修を行う。

ラダーⅡ、Ⅲ、Ⅳは、基礎編、実践編、スキルアップ編と段階に応じて学んでいき、今年は基礎編の内容の研修となっており、平成29年度までの受講者に対しての互換性も可能である。

また、今後の研修として、平成29年度までの「がん看護研修Ⅰ」の受講生に対し、今年最終年として、「がん看護研修Ⅱ」を行い、修了生のフォローアップ研修も企画している。

部会長より、今までのプログラムⅠと新しい基礎編との違いについて質問があり、プログラムⅠは12科目のテーマ、プログラムⅡは実習であったが、今年度からの基礎編は基礎的な知識と技術を身につけ、自立して看護を実践するとし、6つのテーマに絞り座学と、演習・グループワークを含め次の実践編につなげる内容となっていること、また、実践編では、ケアの受け手に合う個別的な看護を実践し、スキルアップ編では、他職種と協働できるような形となっており、今後内容について検討していく、との回答があった。

また、部会員より、研修の開催に伴う予算についての質問があり、研修のための予算はなく、各拠点病院の認定看護師が講師であるため謝金の支給はなく、旅費も各拠点病院より支出している、との回答があった。

部会長より、看護研修は、看護協会でラダーがしっかり決まっており、それに基づいて今後も引き続き行っていただくよう依頼があった。

5) がん専門・認定薬剤師の育成について（資料5）

部会長より、3月開催の滋賀県がん診療連携協議会で、患者会の方から人材育成が進んでいないとの指摘があったこと、また、看護師については看護ワーキングが計画的に実施できているが、医師については難しい点があり、今回薬剤師の人材育成の取組について紹介していただき、部会としてみていくことにしたいとの発言があり、了承された。

引き続き、病院薬剤師会の寺田部会員より資料5に基づき取り組みの紹介があった。

病院薬剤師会は、病院に勤務している薬剤師、約500名弱の会員数がある。がん、感染、精神に対する支援を行っている。病院薬剤師会の中に、各医療圏の拠点病院から委員を出して、がんの委員会を作り、資格をとる際の症例報告、症例検討の場を作ることから始まった。最終的には、がん専門・認定薬剤師の資格取得者を増やすことを目的として、奇数月の第1水曜日に、講義形式と参加型で「薬物療法 conference」行っている。参加人数は少し減少傾向ではあるが、コンスタントに30名前後の参加者がある。

昨年、がん化学療法認定看護師と合同で、症例について多職種合同カンファレンスを行い「薬事日報」にも取り上げられた。

有資格者が増えたため、有資格者の参加も増え、平成25年度にカンファレンスを開始して以降、経年的に増加している。また、平成29年には有資格者が全体で28名となり、医療圏別に見ても高島市民病院を除いて薬剤師の均てん化が図られた。

このように継続して行うことにより、意識も向上し人材育成につながっていく。

部会長より、講師謝金等の予算についての質問があり、寺田部会員より、年間30万円の予

算と、メーカーとの共催で行うこともあるが、委員のメンバーは、ボランティアで講師をしている、との回答があった。

また、部会長より、認定薬剤師は、病院として必要性があり、現在認定薬剤師がいない湖西地区も含め引き続き人材を育成していくことが重要であるため、薬剤師の人材育成についても看護師と並んで、部会としてフォローしていくとの説明があった。

検査技師会より、検査技師のがんの認定資格はないが、細胞、病理、血液の認定制度はあるとの発言があり、部会長より、検査技師会での取組についての情報を、次回の部会で教えていただき、また、他の団体の方々にもお願いしたいとの依頼があった。

6) 国立がん研究センターの受講調整について（資料6-1～2）

部会長から、国立がん研究センターによる研修で、滋賀県の推薦が必要な「がん化学療法医療チーム指導者養成研修」について、平成30年度の受講予定は市立長浜病院、平成31年度は長浜赤十字病院となっていることの確認があった。

また、資料6-2の一覧を確認いただき、人材育成のために参加していただくよう依頼があった。

7) 各団体の取組について（資料7）

部会長より、滋賀県がん診療連携協議会で、患者会の方から、団体の取組についての報告が、他の部会と重なっているとの指摘があったが、部会員が異なることもあり、両方で報告していただくこととするとの説明があった。

引き続き、各団体の平成30年度取組予定について報告があった。

（滋賀県歯科医師会）

- ・3月から「口腔がんチェック」の体制が整い実施している。550医療機関のうち129の機関から応募があり、引き続き周知徹底して実施医療機関を増やしていきたい。
- ・がん患者の口腔ケアにかかる医科歯科の連携を引き続き実施していく。

（滋賀県薬剤師会）

- ・滋賀県薬剤師会が認定している「在宅ホスピス薬剤師」の4期生の養成を昨年行った。認定期間が3年で、その後の更新が進んでおらず実際に数が増えていない。そのため、今後の方向性についてアンケート調査を行い、その結果を部会で報告したい。

（滋賀県放射線技師会）

- ・CT、MRIなどのモダリティの研修の中で、がんに関することについて研修を行っている。
- ・市民を対象に「乳がん」をテーマにした研修会を1月26日に臨床検査技師会と共催で行う予定である。
- ・県内各所の健康フェスティバルに参加し、パネル展示等で啓蒙活動を行う。

（滋賀県臨床検査技師会）

- ・健康フェスティバルに参加し、啓発活動を行う。

- ・独自の取り組みとして、「検査と健康展」を今年度もイオンモール草津で開催する。
- ・医療人育成として、(1) 臨床血液部門、(2) 病理細胞部門、(3) 臨床一般部門、(4) 検体総合管理部門の各部門でそれぞれ研修会を行っている。
- ・他団体との共催の研修会を4つ計画しており、放射線技師会との共催では「乳がん」をテーマにした研修会を予定している。

(滋賀県歯科衛生士会)

- ・毎年、生涯研修会を開催していたが、諸事情により今年度の開催はなく、来年度に向けて準備を行っている。
- ・「がん医療」研修会の告知で、近隣の県での研修会や各団体の研修会の情報を発信していく。
- ・病院に勤務している歯科衛生士による情報交換やスキルアップセミナーを6月に開催する予定である。
- ・周術期口腔機能管理について、病院、診療所の連絡書を活用したシームレスな関係強化を実践する。

(滋賀県栄養士会)

- ・10月6日に「がん緩和ケアについて」の講義を予定している。
- ・今まで、がん専門管理栄養士のニーズがなく、5名しかいなかったが、今回の診療報酬の改定により、緩和ケア診療加算では、栄養士が関わることで点数が取れることになった。研修会等を通じて情報共有し、緩和ケアの中で食事について関わるよう前向きにアプローチしていきたい。

(滋賀県病院薬剤師会)

- ・年4回の滋賀県がん薬物療法 conference を行い、7月、9月の内容が決まっている。9月に開催される conference は、「遺伝性腫瘍」について、認定遺伝カウンセラーによる症例をベースにしたディスカッションとなっており、興味のある方は参加していただきたい。
- ・第18回の地域のがん薬物療法を支える薬剤師養成コースは、最近院外処方箋が増えているため、地域の調剤薬局と共催して基礎的なことをレクチャーしていく。
- ・病院薬剤師向けセミナーとして「ハイリスクがん患者 がん薬物療法セミナー」を開催する。

(2) その他

1) 滋賀県からの情報提供

「滋賀県がん対策推進計画（第3期）」の概要について（資料8）

資料に基づき「基本理念」、「全体目標」と「分野別施策及び目標」である4本の柱について説明があった。

柱の一つである「これらを支える基盤の整備」の中で、本部会に関わる「人材育成」に関して、専門的な医療従事者の育成が行われており、また、「がん教育」については、長浜や高島

でがん教育が行われており、県としてもがん対策が少しでも進んでいくよう考えていく。

2) がん患者団体連絡協議会から

- ・滋賀県がん診療連携協議会において、医療人の育成についてお尋ねしたが、本日、看護師以外でも病院薬剤師会、臨床検査技師会、放射線技師会の方々の取組をお聞きし安心した。患者会に持ち帰り伝えたい。
- ・研修会がボランティアでやられていることに驚いた。また、がんと診断された時からの緩和ケアで、食事に関することも大事であり、管理栄養士の方も緩和ケアのチームに入っていただくと、患者も食事について安心して向き合っていける。

【配布資料】

- (資料1) 滋賀県がん診療連携協議会アクションプランシート (研修推進部会)
- (資料2) 平成30年度滋賀県がん診療連携協議会PDCAチェックリスト (研修推進部会)
- (資料3-1) 平成30年度 がん関係フォーラム、講演会等開催予定数 (開催場所医療圏別、対象者別、内容別) (平成30年5月28日現在)
- (資料3-2) 平成30年度 がん関係フォーラム、講演会等開催予定情報全体版 (医療圏別) (平成30年5月28日現在)
- (資料3-3) 資料3-1において、がん内容の区分が「その他」となっているものの一覧
- (資料4) 平成30年度 研修推進部会 看護ワーキング報告
- (資料5) 施設間ネットワークの形成と人材育成を目指した滋賀県がん薬物療法 conference の活動内容とその効果
- (資料6-1) 平成30年度 国立がん研究センター 都道府県指導者研修 (県の推薦が必要な研修) 受講予定一覧
- (資料6-2) 平成30年度におけるがん対策情報センターの研修計画 (予定)
- (資料7) 平成30年度 各団体取組予定
- (資料8) 「滋賀県がん対策推進計画 (第3期)」の概要

【参考資料】

- (参考1) 研修推進部会 部会員名簿
- (参考2) 滋賀県がん診療連携協議会について
- (参考3) 前回議事概要 (平成29年度 第3回研修推進部会 2月23日開催分)